



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社

コード番号 7976 URL <https://www.mpuni.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 数原 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 蛇川 寿史 TEL 03-3458-6215

四半期報告書提出予定日 平成29年11月6日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	49,160	2.3	8,512	2.9	8,828	16.3	6,234	26.2
28年12月期第3四半期	48,048	0.1	8,270	△12.4	7,593	△21.7	4,938	△22.1

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 7,323百万円 (637.3%) 28年12月期第3四半期 993百万円 (△84.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	108.10	ー
28年12月期第3四半期	85.78	ー

(注) 当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	116,009	85,448	72.5	1,459.07
28年12月期	105,102	79,737	74.5	1,356.83

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 84,147百万円 28年12月期 78,251百万円

(注) 当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり純資産は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	ー	19.00	ー	21.00	40.00
29年12月期	ー	22.00	ー		
29年12月期(予想)				11.50	ー

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注2) 当社は、平成29年7月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行っており、平成29年12月期の第2四半期末配当金については分割前の株式に対するもの、平成29年12月期(予想)期末配当金については分割後の株式に対するものであります。

(注3) 28年中間配当金19円は、創業130年記念配当金1円を含んでおります。

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	2.0	11,000	11.5	11,000	10.5	6,500	5.0	112.71

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(注2) 平成29年12月期通期の1株当たり当期純利益については、平成29年7月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行った影響を考慮しております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	64,286,292株	28年12月期	64,286,292株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	6,614,632株	28年12月期	6,613,830株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	57,672,042株	28年12月期3Q	57,573,288株

(注) 当社は、平成29年7月1日で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注1) 予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(注2) 当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して平成29年12月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年1月1日から平成29年9月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の着実な改善に加え、株価の持ち直しを背景に消費者マインドが回復しつつあることで、個人消費は底堅さを増しました。一方で、企業業績は回復基調にあるものの、設備投資は海外情勢による不確実性から企業の慎重さを残したまま推移し、さらに人手不足による影響の見通しがつかない状況が続いております。また、世界経済に目を向けると、欧米は雇用環境の改善を背景に個人消費が堅調に推移しておりますが、米国トランプ政権の政治動向や北朝鮮情勢を始めとする地政学リスクの高まりなどの不安定要素が多く、問題が深刻化すれば金融市場の混乱を通じて世界経済の減速につながるものが懸念され、景気に対する不透明感を払拭できない状況で推移しました。

当社グループが属しております筆記具業界におきましては、国内の景気回復に伴う企業収益の持ち直しといった外部環境の後押しを幾分か感じるなか、お客様の消費の場が店頭から通信販売へと移行しつつあり、お客様の消費行動や商品選択のあり方も移り変わろうとしています。さらに、ライフスタイルや価値観の多様化からお客様が筆記具に求める機能や仕様は多岐に亘り、また刻一刻と変化しており、主要メーカー各社が個性に富んだ商品を積極的に投入したことで、競争は一段と激化いたしました。

このような経営環境の中、当社グループは「最高の品質こそ最大のサービス」という社是のもと、高付加価値で高品質な商品開発に取り組んでまいりました。『クセになる、なめらかな書き味』が特長の「ジェットストリーム」シリーズより風格あるブロンズカラーメッキと相性のよい上品な色味を組み合わせたツートンカラーの「ジェットストリームプライム多機能ペン2&1」限定色や、『日本発の新素材』×『日本企業の高度な技術力』を訴求するゲルインクボールペン「ユニボール シグノ 307」から社会人女性向けにシリーズ初のグラデーションカラーを限定で発売いたしました。また、幅広いお客様のニーズに合わせ、発売20周年を迎えた「ユニボールシグノ極細0.38mm」に新たに12色を加えるとともにイラスト描きを提案するなど、「書く」「描く」ことを通じてお客様の生活に喜びや驚きを提供することを目指し、新たに筆記市場の一翼を担う商品の拡充に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は491億60百万円（前年同期比2.3%増）となりました。また営業利益は85億12百万円（前年同期比2.9%増）、経常利益は88億28百万円（前年同期比16.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は62億34百万円（前年同期比26.2%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

筆記具及び筆記具周辺商品事業は、「ジェットストリーム」シリーズをはじめとする主力商品に加え、「アドバンス」などの新製品の販売も堅調に推移し、この結果、外部顧客に対する売上高は472億35百万円（前年同期比2.4%増）となりました。一方、その他の事業では、粘着テープ事業は堅調に推移したものの、引き続き事業を取り巻く環境は厳しく、この結果、外部顧客に対する売上高は19億25百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて109億7百万円増加し1,160億9百万円となりました。これは主として現金及び預金が100億85百万円、有形固定資産が7億9百万円、投資有価証券が14億50百万円増加し、受取手形及び売掛金が17億29百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて51億95百万円増加し305億60百万円となりました。これは主として長期借入金が増加した63億58百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて57億11百万円増加し854億48百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加した50億1百万円、その他有価証券評価差額金が6億18百万円増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年2月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,050	49,136
受取手形及び売掛金	17,674	15,944
たな卸資産	14,777	15,591
その他	2,609	2,293
貸倒引当金	△511	△575
流動資産合計	73,601	82,390
固定資産		
有形固定資産	16,021	16,730
無形固定資産	846	847
投資その他の資産		
投資有価証券	13,092	14,543
その他	1,540	1,496
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	14,632	16,040
固定資産合計	31,500	33,618
資産合計	105,102	116,009

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,344	7,997
短期借入金	1,097	1,437
未払法人税等	722	1,064
賞与引当金	508	1,162
返品引当金	40	33
その他	7,913	5,407
流動負債合計	18,627	17,102
固定負債		
長期借入金	5	6,364
退職給付に係る負債	3,753	3,819
役員退職慰労引当金	973	84
環境対策引当金	23	14
その他	1,980	3,175
固定負債合計	6,737	13,458
負債合計	25,365	30,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,675	3,687
利益剰余金	67,698	72,700
自己株式	△3,938	△3,940
株主資本合計	71,934	76,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,573	6,191
繰延ヘッジ損益	△36	△3
為替換算調整勘定	1,214	1,338
退職給付に係る調整累計額	△434	△324
その他の包括利益累計額合計	6,317	7,201
非支配株主持分	1,485	1,301
純資産合計	79,737	85,448
負債純資産合計	105,102	116,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	48,048	49,160
売上原価	23,331	23,607
売上総利益	24,717	25,553
販売費及び一般管理費	16,446	17,040
営業利益	8,270	8,512
営業外収益		
受取利息	20	21
受取配当金	162	162
持分法による投資利益	51	—
受取地代家賃	63	63
受取保険金	22	20
受取補償金	—	139
為替差益	—	64
その他	31	51
営業外収益合計	352	524
営業外費用		
支払利息	8	7
為替差損	890	—
シンジケートローン手数料	39	121
売上割引	21	44
その他	69	34
営業外費用合計	1,029	208
経常利益	7,593	8,828
特別利益		
固定資産売却益	4	21
投資有価証券売却益	10	—
特別利益合計	14	21
特別損失		
固定資産除売却損	213	88
減損損失	16	—
投資有価証券評価損	4	—
特別損失合計	234	88
税金等調整前四半期純利益	7,372	8,762
法人税等	2,244	2,343
四半期純利益	5,128	6,419
非支配株主に帰属する四半期純利益	190	184
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,938	6,234

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日）
四半期純利益	5,128	6,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,988	618
繰延ヘッジ損益	△14	32
為替換算調整勘定	△2,204	144
退職給付に係る調整額	73	109
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	△4,135	904
四半期包括利益	993	7,323
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	916	7,119
非支配株主に係る四半期包括利益	77	204

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成29年3月30日開催の第142期の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打切り支給額の未払分833百万円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

なお、一部の国内連結子会社については引き続き、役員退職慰労金の支給に備えるため内規に基づく要支給額を「役員退職慰労引当金」に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年1月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	46,122	1,926	48,048	—	48,048
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	19	31	△31	—
計	46,133	1,946	48,079	△31	48,048
セグメント利益	8,217	36	8,253	17	8,270

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年1月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	47,235	1,925	49,160	—	49,160
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	17	27	△27	—
計	47,244	1,943	49,188	△27	49,160
セグメント利益	8,399	96	8,495	16	8,512

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。